

## 第14回

# 安全・安心サイエンス「感染症・バイオテロ研究会」

コーディネーター：青木 節子 慶應義塾大学 総合政策学部 教授

## 演 題：米国の入国管理政策と国土安全保障 —9.11テロ後を中心に—

講 師：加藤 洋子 氏 日本大学国際関係学部 教授

### 講演概要：

21世紀の幕開けの年、2001年に起きた9.11テロは、人々に大きな衝撃を与え、いまだに記憶に生々しい。21世紀の到来を象徴するような新しい型の攻撃は、ソ連・東欧共産圏の崩壊や情報技術革命の進展とあいまって、米国の安全保障政策の再編と変容を促進させるものとなった。誕生もないブッシュ政権は、米国の安全保障政策の根本からの再検討を進めたが、本報告では、ブッシュ政権下の安全保障政策のなかでも、とくに米国内に対する国土安全保障政策について、入国管理との関係から—情報技術革命を視野に入れつつ—検討する。「テロに対する世界戦争」(Global War on Terror)に対応するべく、ブッシュ政権は、それまで担当ごとに分かれていた国土安全保障を、統合させて政策立案するようになった。国土安全保障省(Department of Homeland Security)の新設は、その中心となる改革の一つだった。テロの脅威のみならず、インフルエンザやハリケーン、さらには入国管理なども視野に入れた「国土安全保障のための国家戦略」とはどのようなものなのだろうか？情報技術革命の進展は、米国の国土安全保障や入国管理にどのような変化をもたらそうとしているのだろうか？—こういった問題を本報告では検討してみたい。

(2008年9月18日演題・講演概要変更)

### 講師略歴：

慶應義塾大学経済学部卒

慶應義塾大学大学院経済学研究科を経て、

米国州立ウィスコンシン大学大学院歴史学研究科修了 Ph.D.

東京大学教養学部アメリカ科助手、日本大学国際関係学部専任講師、助教授を経て教授（現在に至る）

開催日時：2008年9月27日（土）16:00～17:30

開催場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 東館6階G-SEC Lab  
東京都港区三田2-15-45

アクセスマップ：<http://www.gsec.keio.ac.jp/access.html>

申込方法：参加を希望される方は下記のアドレスからお申込ください。「事前参加登録制」です。

席に限りがございますので、定員に達し次第締め切らせていただきます。

なお、お送りいただいた情報はプロジェクト内で管理しております。

申 込 先：<http://biopreparedness.jp/>

申込締切：2008年9月24日（水）

#### プロジェクト事務局

慶應義塾大学医学部 熱帯医学寄生虫学教室

生物災害危機管理研究室

電話&FAX 03-3351-0508(信濃町キャンパス)

当日の連絡先:03-5427-1293(三田キャンパス)

本研究会は、平成20年度文部科学省安全・安心科学技術プロジェクト(研究統括:慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所 上席研究員 竹内 勤)により実施しています。